

# 研究協力をお願い

昭和大学江東豊洲病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

小児患者における *Haemophilus influenzae* の薬剤感受性状況と背景因子

## 1. 研究の対象

2014年12月1日～2017年2月28日に当院こどもセンターに入院し、呼吸器感染症と診断された方

## 2. 研究目的・方法

インフルエンザ菌 (*Haemophilus influenzae*) は小児細菌感染症の代表的な原因菌です。近年、その抗菌薬に対する耐性機序は複雑化しており、これまで推奨されてきた抗菌薬では効果が認められない患者さんが増加しています。そこで昭和大学江東豊洲病院において、小児感染症患者さんにおける適切な抗菌薬の選択および耐性菌の増加防止を目的とし、インフルエンザ菌の薬剤感受性状況と背景因子（年齢、兄弟の有無、集団保育の有無、入院前の抗菌薬使用の有無）の関連性について調査することを計画しました。

本研究では、こどもセンターに入院された患者さんのデータを取得します。患者さんのデータは、病院内の診療録管理室にて「3. 研究に用いる試料・情報の種類」に記載した情報を取得します。

### 研究期間

2016年8月8日～2018年3月31日

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：現病歴、既往歴、年齢、性別、兄弟の有無、集団保育の有無、処方歴、入院前の抗菌薬使用の有無、インフルエンザ菌の各種薬剤感受性

## 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学薬学部 病院薬剤学講座 職名：講師

昭和大学江東豊洲病院 薬局 職名：薬局長

氏名：田中 克巳

住所：135-8577 東京都江東区豊洲 5-1-38

電話番号：03-6024-6389

研究責任者：

所属：昭和大学薬学部 病院薬剤学講座 職名：教授

氏名：佐々木 忠徳